



平成31年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年9月28日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4829 URL http://www.nihon-e.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第1四半期の連結業績（平成30年6月1日～平成30年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第1四半期	775	△20.4	32	△3.0	43	18.1	5	52.7
30年5月期第1四半期	974	△21.8	33	△50.6	37	△53.7	3	△93.2

(注) 包括利益 31年5月期第1四半期 9百万円 (△42.0%) 30年5月期第1四半期 15百万円 (△64.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第1四半期	0.14	—
30年5月期第1四半期	0.09	0.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年5月期第1四半期	5,889	5,140	82.5	121.11
30年5月期	6,004	5,213	82.1	122.89

(参考) 自己資本 31年5月期第1四半期 4,860百万円 30年5月期 4,931百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	0.00	—	2.00	2.00
31年5月期	—	—	—	—	—
31年5月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年5月期の連結業績予想（平成30年6月1日～平成31年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	3,895	0.1	285	62.9	345	34.0	175	5.3	4.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っているため、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年5月期1Q	40,613,000株	30年5月期	40,612,400株
② 期末自己株式数	31年5月期1Q	480,000株	30年5月期	480,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年5月期1Q	40,132,690株	30年5月期1Q	40,567,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるITサービス業界を取り巻く環境は、スマートフォンの高性能化、通信インフラ環境の発達などを背景に、スマートフォンやクラウドを活用したサービスやシステムの需要が拡大しております。また、新たな社会基盤構築へのニーズが高まっており、同環境は今後も大きく発展していくことが予想されま

す。これらの状況において、当社グループといたしましては、コンシューマ向けスマートフォンアプリ、システム開発、デバッグ、業務効率化アプリ、モバイルキッティング、音声ソリューション、電子商取引（eコマース）などのサービスを推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7億75百万円（前年同四半期比20.4%減）、営業利益は32百万円（同3.0%減）、経常利益は43百万円（同18.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5百万円（同52.7%増）となりました。

各セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<クリエイション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、「コンテンツサービス」においては、キャリアプラットフォーム市場が縮小する中、定額制を中心に効率的な運用で収益確保を図るとともに、健康・リユース・余暇の充実への社会全体の意識の高まりを背景に、主力アプリであるヘルスケア、フリマ、交通情報、電子書籍、ゲームの利用促進や新規コンテンツの開発等に努めてまいりました。

また、「ビジネスサポートサービス」においては、企業による業務効率化やクラウド活用が進む中、業務用スマートフォンアプリ、交通情報・教育・観光・調達などの各種クラウドサービス、音声ソリューションの他、ECサービス等自社開発のサービスを活用した受託開発が堅調に推移いたしました。鮮魚eコマース『いなせり』においては、豊洲市場への移転が延期される中、東京魚市場卸協同組合と連携し、物流の最適化、飲食事業者開拓に取り組むとともに、大口顧客を対象としたオークションサービス『いなオク』を開始いたしました。その他、キッティングサービスにおいては、支援ツール『Certino（セルティノ）』を中心に、お客様のご要望に応える新たな支援ツールを開発してまいりました。

また、ブロックチェーン（注1）を活用した電力取引や自動運転など、新サービスの実証事業に継続して取り組んでまいりました。

以上の結果、クリエイション事業の売上高は4億73百万円、セグメント利益は1億45百万円となりました。

（注1）データを「ブロック」に格納し、鎖（チェーン）のように連結して保管する、改ざんが極めて困難なデータベース

<ソリューション事業>

システムの受託開発・運用サービスを主な業務とする当事業は、活発なIT投資による市場拡大の状況下、スマートフォンアプリ及びサーバ構築の豊富なノウハウと実績が評価され、スクラッチ開発（注2）を中心としたアプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポートなどクリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発が引続き好調に推移いたしました。

また、平成30年2月に事業譲渡した「広告代理サービス（店頭アフィリエイト）」に代わる新たなサービスとして、現在、今後拡大が見込まれる端末周辺事業の創出に注力しており、当第1四半期連結累計期間においては、クリエイション事業で注力しているキッティングサービスを核に、中古端末（スマートフォン等）の買取サービスの開始に向けた準備を進めてまいりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は3億1百万円、セグメント利益は28百万円となりました。

（注2）システム開発で、特定のパッケージ製品のカスタマイズや機能追加などによらず、すべての要素を個別に最初から開発すること

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億15百万円減少し、58億89百万円となりました。流動資産は、主に仕掛品の増加及び現金及び預金の減少により前連結会計年度末と比較して51百万円減少し、47億75百万円となりました。固定資産においては、主に投資有価証券及び繰延税金資産の減少により前連結会計年度末と比較して63百万円減少し、11億13百万円となりました。

負債につきましては、主に未払法人税等の減少により前連結会計年度末と比較して41百万円減少し、7億49百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありました。剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末と比較して73百万円減少し、51億40百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年5月期の連結業績予想につきましては、平成30年7月11日公表の連結業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,205,000	4,111,758
受取手形及び売掛金	434,101	436,374
商品	1,076	762
仕掛品	61,299	90,464
貯蔵品	446	514
未収入金	70,474	70,957
その他	89,617	98,501
貸倒引当金	△34,708	△33,670
流動資産合計	4,827,308	4,775,664
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	22,269	21,220
機械及び装置(純額)	343,724	337,977
土地	12,400	12,400
その他(純額)	27,191	25,965
有形固定資産合計	405,585	397,563
無形固定資産		
のれん	293	230
ソフトウェア	422,538	416,725
その他	9,244	9,069
無形固定資産合計	432,076	426,025
投資その他の資産		
投資有価証券	170,023	133,964
差入保証金	83,932	82,170
繰延税金資産	71,690	63,796
その他	14,084	10,182
投資その他の資産合計	339,730	290,113
固定資産合計	1,177,392	1,113,702
資産合計	6,004,700	5,889,367

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	94,588	99,920
1年内返済予定の長期借入金	23,496	23,496
未払法人税等	61,470	18,615
未払消費税等	35,150	31,652
賞与引当金	—	8,333
役員賞与引当金	—	570
その他	222,128	217,068
流動負債合計	436,834	399,657
固定負債		
長期借入金	277,387	271,513
退職給付に係る負債	51,970	54,655
その他	24,592	23,453
固定負債合計	353,950	349,621
負債合計	790,784	749,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,107,915	1,108,017
資本剰余金	984,096	984,462
利益剰余金	2,912,185	2,846,779
自己株式	△117,120	△117,120
株主資本合計	4,887,077	4,822,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,672	38,362
その他の包括利益累計額合計	44,672	38,362
新株予約権	3,827	4,036
非支配株主持分	278,339	275,549
純資産合計	5,213,916	5,140,088
負債純資産合計	6,004,700	5,889,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年8月31日)
売上高	974,449	775,527
売上原価	584,674	405,285
売上総利益	389,775	370,242
販売費及び一般管理費	356,440	337,902
営業利益	33,334	32,339
営業外収益		
受取利息	74	61
受取配当金	271	270
受取賃貸料	333	333
業務受託手数料	—	150
補助金収入	4,031	6,239
保険解約返戻金	—	4,975
その他	147	506
営業外収益合計	4,857	12,536
営業外費用		
支払利息	876	819
為替差損	—	16
支払手数料	88	88
その他	58	66
営業外費用合計	1,023	990
経常利益	37,168	43,884
特別利益		
投資有価証券売却益	—	390
特別利益合計	—	390
特別損失		
固定資産除却損	31	—
特別損失合計	31	—
税金等調整前四半期純利益	37,137	44,275
法人税、住民税及び事業税	20,076	18,268
法人税等調整額	5,346	10,678
法人税等合計	25,423	28,947
四半期純利益	11,714	15,327
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,933	9,553
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,780	5,774

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	11,714	15,327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,729	△6,309
為替換算調整勘定	93	—
その他の包括利益合計	3,822	△6,309
四半期包括利益	15,537	9,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,603	△535
非支配株主に係る四半期包括利益	7,933	9,553

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	498,225	476,224	974,449	—	974,449
セグメント間の内部売上高又は振替高	613	8,914	9,528	△9,528	—
計	498,839	485,138	983,977	△9,528	974,449
セグメント利益	153,160	2,315	155,475	△122,141	33,334

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△122,141千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年6月1日至平成30年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	473,629	301,897	775,527	—	775,527
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,007	24,943	31,950	△31,950	—
計	480,637	326,840	807,478	△31,950	775,527
セグメント利益	145,438	28,369	173,807	△141,468	32,339

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△141,468千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。